

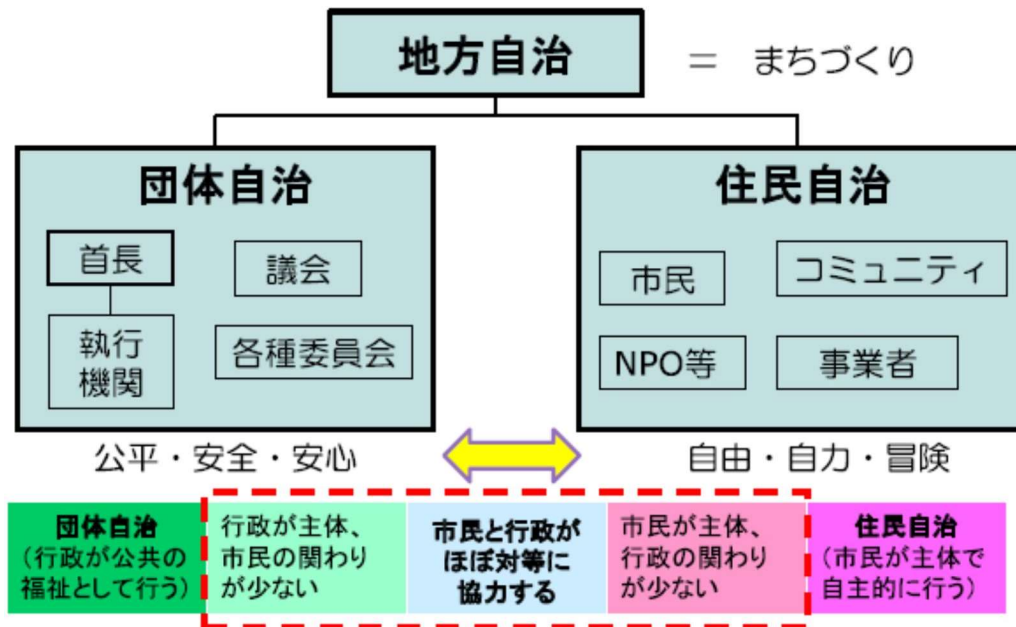
長岡市のコミュニティ推進について

1 団体自治と住民自治について

長岡市では、「団体自治」と「住民自治」のバランスを取りながらまちづくりを進めている。

「団体自治」とは、独立した市や町、特別区などの公的機関が、自身の権限と責任をもって行政運営を行うことであり、「住民自治」は、当該地域の住民が自ら意見や考えに基づいて意思を示し、あるいは行動を起こすことを意味するのである。

この「団体自治」と「住民自治」が車の両輪となって進んでいくことが、長岡市が目指す市民協働のまちづくりの姿である。



★市民協働は、異なる長所を生かしたまちづくり

2 コミュニティ活動について

「コミュニティ活動」とは、市民をとり巻く社会における身近な問題、例えば環境問題や少子・高齢化問題、地域連帯感の希薄化など、個人の力では解決することが困難な多くの課題において、そこに暮らす人達や各種団体が、日常生活の中で世代や組織の枠を超えて交流を深め、助け合いに満ちた地域社会と豊かで潤いのある生活の実現を共通目標に、積極的に力を合わせていくことである。

コミュニティ活動＝日頃から取り組んでいる身近な活動のこと
Ex) 街路の清掃、地域や町内の運動会・文化祭、交通安全パトロールなど

3 長岡市の方針

長岡市においては、生涯学習活動を支援し、児童及び青少年の健全育成を図り、並びに地域住民の社会福祉の増進を図るための事業を実施することにより、住民の地域活動への参加を促し、地域の豊かな人間関係の形成や地域意識の向上等、「地域コミュニティの基盤形成」を地区単位で行っていくことを方針としている。（各地域にあるコミュニティセンターが拠点となっている。）

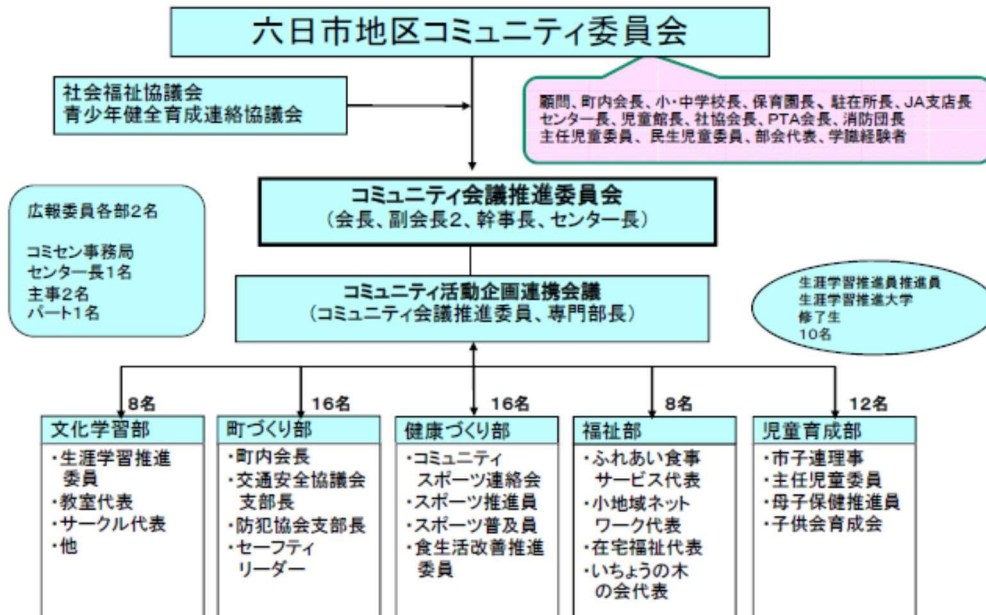
そして、最終的には「自分たちでできることは自分たちで行う」という住民自治（住民主体のまちづくり）の考え方を、地域住民に浸透・定着させていくものである。

長岡市の方針＝「そこに暮らす人たちの“幸せ”を自分たちの力で実現させる」
⇒持続可能な住民主体の地域づくりを浸透・定着させていく

4 地域コミュニティの基盤について

各地域では、コミュニティ活動を行うために、「コミュニティ活動推進組織」があり、地域には、特定の目的ごとに活動する団体があり、「どのような地域社会を築いていくのか」という目指すべき地域目標を話し合い活動を進めている。

組織例)



5 コミュニティ活動推進組織への支援

市では、コミュニティの活性化を図るため、ソフト面として、地域住民が自主的に行う地域活動に要する経費に対して、予算の範囲内で、地区コミュニティ推進組織に対し補助金を交付している。各地区の自由裁量で活動を行うことができるため、自主性が高まり、コミュニティ推進の効果が増すところの特徴となっている。

また、ハード面では各地区にコミュニティセンターを設置し、「コミュニティ活動推進組織」が各々の目標を達成するための活動拠点として利用していただいている。

【参考】

◆いきいきコミュニティ事業補助金

(1) 補助金額の算出

【(①+②+③) 世帯数により上限額を設定】+④+⑤

- ① 基本額（地域活動分） 350,000 円
- ② 基本額（施設管理分） 350,000 円
- ③ 世帯割 世帯数×200 円（1万円未満切捨て）

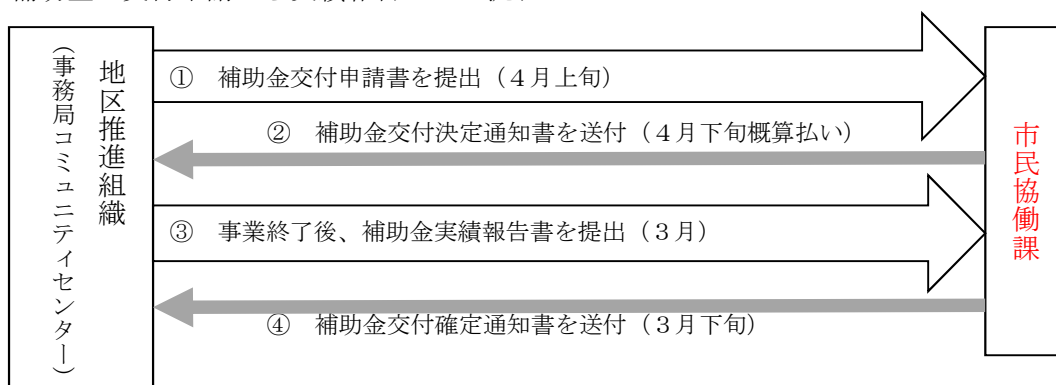
世帯数	①+②+③の上限額
世帯数 8000 以上の地区	1,400,000 円
世帯数 7000 以上 8000 未満の地区	1,300,000 円
世帯数 6000 以上 7000 未満の地区	1,250,000 円
世帯数 5000 以上 6000 未満の地区	1,200,000 円
世帯数 4000 以上 5000 未満の地区	1,100,000 円
世帯数 3000 以上 4000 未満の地区	1,050,000 円
世帯数 1500 以上 3000 未満の地区	1,000,000 円

④ 加算額

○分館がある地区 300,000 円 ○分室がある地区 100,000 円

⑤ 地区の状況等必要に応じて加算

(2) 補助金の交付申請から実績報告までの流れ



- ・③の実績報告において、執行残がある場合は、④の際、「返納通知書兼領収書」を送付するので、納入期限までに金融機関で執行残金を振り込むこと。（金融機関窓口で渡される「領収済通知書」は事務局で保管。）
- ・現金出納簿、領収書関係を整理し、5年間保存すること。

令和2年度いきいきコミュニティ補助金 算出表

地区名	世帯数	R2交付金額	H31との比較増減	
千手	3,474	1,050,000	0	
四郎丸	4,088	1,100,000	0	
豊田	3,673	1,050,000	0	
阪之上	4,353	1,100,000	0	
表町	2,159	1,211,000	0	
中島	2,517	1,000,000	0	
神田	1,433	980,000	-10,000	※世帯数減
川崎	6,325	1,550,000	0	
新町	3,974	1,150,000	0	
大島	5,277	1,200,000	0	
希望が丘	3,776	1,155,000	0	
宮内	9,599	1,700,000	0	
十日町	557	849,000	0	
六日市	764	850,000	0	
太田	110	720,000	0	
山通	954	890,000	10,000	※世帯数増
栖吉	2,989	1,100,000	-50,000	※世帯数減
富曾亀	3,867	1,050,000	0	
山本	936	915,000	0	
新組	701	990,000	0	
黒条	3,516	1,050,000	0	
下川西	468	886,000	0	
上川西	5,494	1,250,000	50,000	※(分室加算)R2.9開設
福戸	358	773,000	0	
王寺川	176	732,000	0	
日越	4,754	1,100,000	0	
関原	2,273	1,025,000	0	
宮本	406	812,000	0	
大積	283	791,000	0	
深才	1,421	980,000	0	
青葉台	1,326	960,000	0	
中之島	3,446	1,450,000	0	
みしま	2,175	1,400,000	0	
おぐに	1,845	1,400,000	0	
寺泊	3,003	1,450,000	0	
とちお	7,014	1,700,000	0	
よいた	2,199	1,400,000	0	
合 計	101,683	40,769,000	0	

40,769,000円(総額)－8,800,000(支所地域)=31,969,000(長岡地域分)

活動事例（よいたコミュニティ協議会 R 元年度）

部会名	事業名	期間（回数）等	参加人数 （延べ）	事業内容	市関係課
本体事業	河川清掃活動	4月21日（1回）	243人	与板河川公園周辺と旧黒川の清掃活動を実施する。清掃終了後に豚汁を振舞う。	支所地域振興課
	与板地域体育祭	中止	—	悪天候によるグラウンドコンディション悪化のため中止。	
	こみせんCafé	7月～12月（12回）	329人	誰でもが気軽に立ち寄ることができ、みんなが一緒に楽しめる場「こみせんCafé」の提供。	
	イルミネーション事業	12月1日～2月29日	—	コミセンXmasナイトのイベントにむけたイルミネーションの設置。	
	コミセンXmasナイト	12月15日（1回）	200人	地域住民（実行委員会）による企画運営のキャンドルの灯を楽しむXmasパーティを開催。	
	年末大清掃	12月8日（1回）	80人	コミセン施設利用団体（利用者）から参加してもらい、一斉に館内の年末大掃除を実施。	
与板 夢会議 事業	花の広場活性化	7月28日、11月9日（2回）	110人	与板河川緑地たちばな公園下流にある「花の広場」を憩い集えることを目標に実施。	
	よいたyumeマルシェ	12月21日（1回）	200人	家庭に眠っている物の循環を促し住民の交流を深めるため、マーケットを開催。	
まちづくり 部会	夜空を見上げてみようよ！	8月5日（1回）	24人	星に詳しい講師を招き、星空の観察や勉強会を開催。	
	自分磨き講座	11月30日（1回）	30人	アロマオイルを使った「手と足のマッサージ講座」を開催した。	
保健・福祉 部会	ママとキッズ&ベビーのほのぼのカフェ	4月～3月（11回） （毎月第2月曜日）	232人	ママと子どもたちが「ゆったりほのぼの」とした気持ちで過ごせる場の提供と仲間づくり。	支所市民生活課
	アトラクション・講演会等	5月11日（1回）	40人	更生保護女性会の集会や講演会等を地域住民にも提供。	
	ふるさと料理講習会	7月～2月（3回）	54人	郷土料理の継承をシリーズで開催。	支所市民生活課
	夏休み子ども体験教室	8月5日、8月24日（2回）	57人	楽しいモノ作り体験を通して文化活動の推進と子どもたちの豊かな発想力の向上を図る。	
	ボランティア講座	9月～10月（5回）	41人	紙芝居の表現方法を学び、いろいろな場で笑顔の輪を広げたいという目標を持ってシリーズで開催した。	
	高齢者見守り地域交流事業	10月21日（1回）	74人	一人暮らし高齢者等、地域の高齢者を地域全体で見守るための交流事業の開催。	支所市民生活課 社会福祉協議会 包括支援センター
	健康づくり教室	中止	—	親子での参加が見込まれないため中止。	
スポーツ 部会	地域対抗スポーツ大会	5月～11月（4回）	481人	町内対抗スポーツ大会を4種目開催。	支所市民生活課
	スポーツ体験会	5月18日、5月25日（2回）	18人	地域のスポーツ少年団などと協力しそれぞれの体験会を開催。	
	レク式体力測定	1月29日、2月20日（2回）	36人	楽しく簡単に体力チェックを行い、健康寿命につながる活動を行う。	支所市民生活課

文化部会	消しゴムハンコ体験会	9月18日 (1回)	18人	消しゴムハンコを作成し、モノ作りの楽しさを体験する。	
	陶芸体験教室	8月31日 (1回)	17人	陶芸体験を教室として開催。	
	与板いきいき文化フェスティバル	10月27日 (1回)	100人	地域の文化祭をよいた文化協会が主催し、ふれあいルームで「こみせんCafé」を開催。	支所地域振興課
	聞香体験教室	10月27日 (1回)	30人	与板地域文化祭において、聞香の体験コーナーを設けた。	
	くずし字を読んでみよう	12月～2月 (3回)	15人	変体仮名から始めて、「北越奇談」「良寛の書」「和歌」などの古文書を読んだ。	
	書初め教室	12月24日～25日 (2回)	32人	地域の書道教室から講師を招き、小学生を対象に書道の基本を学ぶ。	
広報委員会	コミュニティ通信発行事業	通年 (8回)	—	コミュニティ通信「やっばよいたらて！」の発行。	